

【別紙様式】

南房総市は、新型コロナウイルス感染症への対応として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、制度要綱に定める交付対象事業の要件「新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生に資する事業」に該当する以下の事業を実施します。

事業名	道の駅新型コロナウイルス対策事業を実施する者に対する補助金の交付		
総事業費 (千円)	16,104千円	交付金関連事業費 (交付対象経費) (千円)	16,104千円
事業概要	<p>①目的 新型コロナウイルスの影響により売り上げの減少した地域事業者を支援するため、道の駅を核としたECサイトの活用や、感染症対策を踏まえた業務改善により、南房総の情報発信、旅行形態の変化への対応、地域特産品の活用・販売促進に取り組み、新たな付加価値を生み出すことで、地域事業者の販売増大、観光需要の拡大により地域経済の活性化を図る。</p> <p>②交付金を充当する経費・算定根拠 補助金：1事業者×16,104千円=16,104千円 ・ECサイトシステム強化 12,128千円 ・道の駅業務改善支援 3,976千円</p> <p>③交付対象 1) 交付対象者 道の駅新型コロナウイルス対策事業を実施する者（株式会社ちば南房総）1者 2) 交付対象者の選定理由・選定方法 道の駅設置カ所数全国1位の本市にとって、8カ所の道の駅は多くの観光客を受け入れるための中心拠点となっている。また、直売所機能を有しており市内一次産業をはじめとした事業者の重要な販売拠点となっている。株式会社ちば南房総は、市内6カ所の道の駅管理運営を担う第3セクターとなっており、観光拠点、一次産業と連携等により、地域振興の役割を大きく担ってきた。コロナ禍における道の駅地域振興の事業主体として株式会社ちば南房総を選定する。</p> <p>④期待される効果 「新しい生活様式」の普及に伴い、拡大するEC市場において、さらなる取り扱いエリア・販路の拡大、B to B対応のため、ECサイト強化及び、それに連動した物流システム導入による農水産物等をはじめとした地域内物流の効率化により、地域産品の出荷数の増大を図ることで売り上げの減少する市内事業者の支援につなげる。 また専門家を活用した3密対策、新たな観光ビジネスを踏まえた業務改善により、道の駅の付加価値を高め、Withコロナ・Afterコロナでの道の駅を核とした観光需要の向上により地域振興を図る。</p>		

<p>新型コロナウイルス感染症への対応（経済対策）との関係</p>	<p>地域特産品の活用・販売促進の取り組み及び、コロナ禍、アフターコロナにおける集客力の強化により、新型コロナウイルス感染症の影響により売り上げの減少した市内事業者の活性化に取り組むことから、「新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けている地域経済の支援を通じた地方創生に資する事業」に該当するものであり、地方創生臨時交付金を活用することが妥当である。</p>
-----------------------------------	--